

N
03
016

With

ウィズセンター情報誌

INDEX

- 講座報告 男女共同参画推進月間記念講演会
- 男女共同参画絵てがみコンテスト 入選者発表
- 岡山県男女共同参画社会づくり 功労者表彰
- 啓発資料のご案内
- この人にアテンション！ 岡山市立箕島小学校 校長 真邊和美さん
- 講座等のご案内
- ウィズライブラリー

2001
11
vol.16



『子育て終えて土作り』 撮影・脇本七重さん(岡山市) 平成12年度 男女共同参画写真コンテスト優秀作品

男と女、個性を生かして生きる21世紀



里中満智子

(さとなか まちこ)

1948年大阪市生まれ
デビュー作「ピアノの肖像」で
講談社新人漫画賞受賞。
代表作「あした輝く」('72)で
講談社出版文化賞を、「狩人の
星座」('79)で講談社漫画賞
を受賞。

ウィズセンターでは、11月の男女共同参画推進月間に、最終審査員の里中満智子さんをお招きし、「男女共同参画絵てがみコンテスト」の入賞作品の表彰式を行い、続いて記念講演会を開催しました。

■こだわりを捨てられない性別

私が生まれたのは戦後のベビーブームの時代です。学校では、民主主義社会のなかで、「人は皆、平等であること」を教えようとしていました。しかし、これがカタチばかりではないか！と思い始めたのは小学校2年生の時でした。私は体格の良い子で、私より大きい男の子は当時、いませんでした。男の子にいじめられて、泣いている女の子を見ると、私は俄然、使命感に燃えて、その男の子と戦いました。当然、大きい私が勝ちます。しかし、ここで先生や親は私に、「女の子なんだからおしとやかにしなさい。嫁のもらい手がなくなるよ。」そして、女の私に負けた男の子は、「男のくせに女に負けてやんの！かって悪い！」と他の男の子たちから、はやし立てられる始末。小さいからケンカに負けるのは当たり前。なのに、男だからという理由だけでだらしがないと言われ、こちらはおてんば！と叱られる。なんだかおかしいぞ!!

こうした思いを引きずりながら、私は中学生になりました。中学校は小学校と違って、さまざまな委員があります。ここでも、またまた疑問発生。男子が委員長で、女子が副委員長と決まっているのです。長も副も、男女どちらでもいいから1人ずつ。これでいいんじゃないか？私は先生に尋ねました。しかし、先生からは明確な答えは返ってきませんでした。

考えてみれば、世の中って、どうでもよいことで、まだまだ男女のこだわりがあるように思えてなりません。このこだわりを取り除いて初めて、一人ひとりが遠慮することなく生きていけるのではないのでしょうか。

■2つのイスに、座って話を

ここで少し、人類の歴史を紐解いてみましょう。他の動物と異なり、“2本足で立って歩く”という道を選んだのが人類の原点でした。立てばその分、骨盤が狭くなります。骨盤が狭くなれば、その中で赤ん坊は十分、育ちません。未熟なままで生まれてきます。考えてみてください。人間の赤ん坊ほど、か弱い存在はないと思いませんか。動物の赤ん坊は、生まれてすぐに4本足で立ちます。自力で母親のオッパイも探せます。しかし人間は立つところが、オッパイさえ探することができません。母親が抱いて、赤ん坊の口をオッパイまで持って行ってやらなければなりません。まして、自力で食料を得、一人で生きていけるようになるまでには、相当な年月がかかります。ここから男女の役割がスタートしました。つきっきりで生命を育てる女。その生命のために、狩猟や縄張り争いをして食料を得る男。ほんの少し前までの社会と同じです。



嫁に行き、子を持つのが女の幸せ。ひたすら働き、妻に不自由をかけず、マイホームを手に入れ、子どもを学校にやるのが、男たるもの。男性が職から逃げ出すことは、絶対許されなかった。経済行為を、すべて男性が背負っていたわけです。原始時代、もしかしたら狩りに行きたくない男性だっていたかもしれない。戦国時代、いくさが苦手な男性だっていたかもしれない。太平洋戦争時代、赤紙に背きたい男性だっていたはずですよ。

何かに向いている、向いていない。何かが得意、得意でない。こういったことは完全に個人の問題です。つまり、それが個性なのです。その人がその人であること。素直に自分がどんな人間なのか！見えてくればそれでいいのだと思います。

もう一つ、付け加えるとしたら、男女が担った役割の必然性から、歴史のほとんどは男性の手で創られてきました。男が作ったシステムだから、男が働きやすく当たり前。何千年かけて出来上がった男社会のシステムを、女が横から「どけてちょうだい！」と奪うよりも、女性も、女性に合ったシステムを作るほうがいい。例えば、男性仕様のイスと女性仕様のイス。そこにお互いが座って話し合う。これが、これからの風景だと私は思います。

■みんな違うグレーだからこそ

体つきという身体的な部分、脳の仕組みの相違からくる感性の部分。あらゆる部分で男女は異なります。その差をお互いが楽しむのがこれ

からの時代。こう考えてみてはいかがでしょう。男性も女性も、白黒はっきりしないグレーのライン上にいる。そして、より黒に近いグレーが男性。より白に近いグレーが女性だと。しかし、この2つの色合いだけに大別はできません。皆がグレーだけれども、あの彼女も、この彼女も、彼も、あっちの彼も、皆、違うグレー。ライン上に点をとっていけば、一つとして重なり合う点はないのです。

そして、違うグレーだからこそ、隣のグレーが、より引き立つのです。

例えば、夏の夕暮れ時、雨に遭ったとします。「雨に降られて、気持ちいいわね。」と言う人もいれば、「雨に濡れて気持ち悪い。」と言う人もいるでしょう。色々な感じ方、考え方の人がいることがわかって初めて、自分の個性というものに人は気づくのです。全員が同じ考えのもとに楽しく生きよう！というのは、少々子どもじみた発想だと思います。それぞれの意見で楽しくやりましょう！というのが、本当の大人です。

■個性を伝え合える21世紀に！！

人類は21世紀に突入しました。まさに経済至上主義、物質文明の時代だった20世紀、今、その弊害に人々は気づき始めました。あるものを生かしながら、皆が気持ちよく暮らせる社会。「あっちもいいわね。」「こっちもいいわね。」と、個人の気づきや考え、ひいては一人ひとりの個性を伝え合える21世紀にしていきたいものです。そして最後に一つだけ、男女共同参画というと西洋の押し売りのように思えますが、日本ほど、世界一進んだ民主主義の国はないのです。1300年前に編纂された万葉集。天皇もホームレスも、そして男女の区別も一切ない、すべての人を同列に扱った作品集です。こんなもの、世界のどこを探しても存在しません。日本人として、誇りに思いたいですね。



話に聞き入る参加者の皆さん

男女共同参画

絵てがみコンテスト 入選者発表

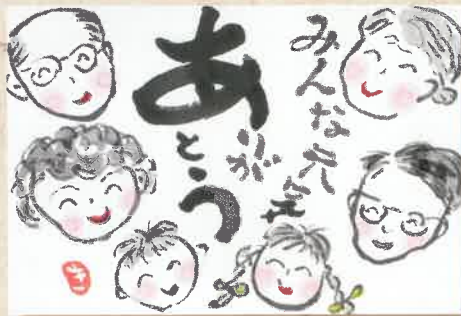
ウィズセンターでは、より広く男女共同参画社会を浸透させることを目的に、「男女共同参画絵てがみコンテスト」を実施しました。

最終選考を漫画家の里中満智子氏にいただき、次の作品が入選いたしました。

ウィズ 大賞



倉敷市 吉田光子



中央町 延原喜和子



倉敷市 佐藤常子



岡山市 山本和子



岡山市 流郷幸枝



岡山市 磯部憲乃

ウィズ賞 (50首順)

有漢町 秋庭さよ子

備原町 難波駿一郎

岡山市 石田秀子

倉敷市 西本 禎

熊山町 石田主枝

高梁市 丸池 宣子

玉野市 白井生子

備前市 吉川寿賀代

岡山市 武本 宣子

邑久町 京尾和子

364点の作品の中から絵の技術やアイデアはもちろんのこと、男女共同参画の視点を重視し、第1次審査で36点に、さらに漫画家の里中満智子さんに最終審査をしていただきウィズ大賞6点、ウィズ賞10点を決定しました。

応募者の皆さん真心のこもった力作をありがとうございました。

講評

漫画家 里中満智子氏

非常にレベルの高い賞で、私も楽しく、しかし苦勞しながら審査させていただきました。同じ素材を扱った絵てがみでも、一人ひとり違った作品になります。これが個性です。これからもこうした機会を生かして、どんどん自己表現をしていってください。

おめでとうございます

岡山県男女共同参画社会づくり

功労者表彰!

多年にわたり男女共同参画社会づくりに顕著な功績のあった人を顕彰し、その功績をたたえる「岡山県男女共同参画社会づくり功労者表彰式」が11月16日(金)、県庁で行われ、石井知事から表彰状が授与されました。



平成13年度岡山男女共同参画社会づくり功労者表彰を受賞された方々
前列左から、竹久さん、石井知事、齊藤さん、
後列左から、有元さん、池田さん、金谷さん、北田さん、

平成13年度男女共同参画社会づくり功労者 受賞者一覧(50音順 敬称略)

氏名	住所地	役職
ありもとみづこ 有元美都子	久世町	まにわ女性セミナー 副運営委員長
いけだたけひこ 池田武彦	岡山市	岡山県男女共同参画推進センター運営委員会 委員長
かなややすこ 金谷安子	倉敷市	イーぷくらしきネットワーク 会長
きただよしこ 北田良子	井原市	いかさ女性セミナー 元運営委員長
さいとうちえこ 齊藤智恵子	玉野市	玉野市女性問題協議会 委員
しげまつかつえ 重松勝江	久米町	久米町女性団体連絡協議会 会長
たけひさえいこ 竹久英子	勝央町	勝英地域女性活動推進センター 副運営委員長

ウィズセンター 啓発資料のご案内

ウィズセンターでは、男女共同参画の早期実現を目指し、啓発資料を作成しました。講座・講習等で御利用ください。



「ジェンダーって?」

男女がともに豊かでいきいきと暮らしていくために、一人ひとりが身近なことから取り組めるよう、家庭・学校・地域・職場等からジェンダーを見てみました。



「ジェンダーチェック」

あなたのジェンダー度は? 暮らしの中の男女のバランスを点検し、あたりまえと思いついて見過ごしている性差別的な意識や言動に気づき、見直しましょう。



「夫やパートナーからの暴力に悩んでいるあなたに」

一番安心して暮らせるはずの家庭で暴力が起こっています。家庭内の暴力も犯罪です。DVの実態・背景、なぜ起きるのか等、DVの根絶、解決の糸口を探ります。

この人に

アテンション!



岡山市立箕島小学校 校長
真邊和美さん

やわらかな秋の日差しの中、校庭に元気な子どもたちの声が響きます。ここは岡山市立箕島小学校。県の社会教育主事時代に女性学に出会い、この分野では常に県内の女性たちをリードしてきた真邊和美校長を訪ねお話を伺いました。

学習のチャンスと理解者に恵まれて

「昭和60年、社会教育主事として県教育庁に入りました。岡山県で女性としては初めてということでした。その事務担当者会議が国立婦人教育会館（現国立女性教育会館（NVEC））で開かれ、初めて“女性学”というものに会い勉強し始めたんです。

その講義の内容は今までの自分の生き方に次々と疑問を投げかける衝撃的なもので、まさに目からウロコの落ちる思いで、その後も東京まで何度も女性学講座に自費で積極的に参加していました。」

「そんな折、平成5年から3年間国立女性教育会館（NVEC）で専門職員として仕事を？」

「当時、家では母と祖母が介護を必要とする状態でした。二人を老健施設に預けて家を空けることを決心したのですが、施設の婦長さんが親身になってくださったことと、夫や子どもたち、近所の人たちも私の単身赴任を寛容に受け入れてくれたことにとっても感謝しています。」

女性学講座の企画担当として、日本の女性学の最先端の知識を学ぶチャンスを得たことは真邊さんにとって大きな収穫であり、前進であったそうです。

市民グループの活動を通して人材育成を

女性学を自分のライフワークとして取り組んでいこうとの思いが膨らみ、仲間たちと共に「岡山女性フォーラム」を立ち上げたのは昭和62年のこと。当初17人で発足したこの会は新メンバーが加わったり、知識を得て巣立っていったり、市民活動の担い手となる多くの人材を育ててこられました。「社会参画したいと願う女性たちに自分の持っているノウハウが役立つのなら最大限に使っていただきたいです。相談があれば必死で考えます。仕事柄、自分自身が動けるのは夜や休日になりますが、思いを同じくする人たちのネットワークですから喜んで、楽しみながら対応しています。」

学校でのジェンダー教育は…

「学校の中で、子どもたちはジェンダーということには全く気が付いてない様子です。教職員の意識改革も少しず

つ進めていかななくてはと思っています。校長という今の立場でできることをやっていこうと思っているのですが、たとえば同和教育も人権教育という考えで広くとらえ、男女平等も取り入れながら人権問題に取り組んでいるところ。」

仕事の上で男女共同参画を推進していく時、国の法律や自治体の条例が整えられたことは大変心強いことと強調される真邊さんですが、すでに校内での職員研修では参条例について学んだり、市の校長会で発案してジェンダーの視点を養うような研修会も実施されたそうです。

環境に育てられて

「教員だった母親からは女性が職業を持つことのすばらしさを学びました。夫がサラリーマンであったことで民間での女性が置かれた立場の厳しさも知ることができました。また、11年間介護もしたので、それに関わっている人たちの気持ちもわかりますよ。職歴のなかで培われたものもありますが、中学校、高校の自由な校風も今の私という人間形成に影響しているのかも知れませんねえ。」と笑顔で自己分析をされました。



今はご自分の子どもさんも独立し、ケアすべき人もいなくなり、自由な時間が増えたので余暇は思いっきりライフワークに関わっているそうです。岡山県の先駆けとして益々パワーアップして地域の女性たちを引っ張っていただきたい。そんな思いで箕島小学校を後にしました。

講座のご案内

受講してみませんか？

■講座名：アカペラコンサート&トーク

クリスマス前のひととき、岡山市内抜群のロケーションをバックに美しいハーモニーとジェンダートークをどうぞ

■日時：平成13年12月8日(土) 14:00~15:30
■出演バンド：しゃんそん'z AIRS ほか

■講座名：「新たな子育ての時代を求めて」 ～母性、父性から育児性へ～

子育ての喜びを共有できる社会の実現を男女共同参画社会の視点で考えます。参加してみませんか。

■日時：平成14年1月12日(土) 13:30~15:00
■講師：大日向雅美(恵泉女学園大学 教授)

申込方法 ● ハガキに①住所、②氏名、③電話番号、④「アカペラコンサート」か「新たな子育ての時代を求めて」と明記し、ウイズセンターまでお申し込みください。電話での申込も可。

場 所 ● ウイズセンター

受 講 料 ● 無料

募集人数 ● 150名程度

申 込 先 ● 〒700-0821 岡山市中山下1-8-45
NTTクレド岡山ビル17Fウイズセンター
TEL:086-235-3307(代表)

土・日・祝日の講座につきましては、「乳幼児の一時預かり」をご利用下さい。
(1回につき500円 定員7名)

予約:086-226-3034((株)ポストメイト)

技術講習会のお知らせ

再就職を希望するあなたへ

■ワープロ(初級)

ワープロ技士3級受験コース

【講習期間】 1/31~3/8の火~金曜日
【講習時間】 10:00~16:00
【場 所】 ウイズセンター
【受付期間】 1/5~16

■パソコン(初級)

パソコン技士(表計算部門)3級受験コース

【講習期間】 2/5~3/6の月~金曜日
【講習時間】 10:00~16:00
【場 所】 西日本電子計算学院(岡山市弓之町)
【受付期間】 1/15~19

申込方法 ● 受付期間の火~土曜日

(祝日を除く9:30~16:30)にご本人がウイズセンターへ来所のうえ申し込んでください。

受講資格 ● 結婚・出産・育児・介護等家庭責任の分担を理由に離職し再就職を希望する方で、全期間出席できる方

受 講 料 ● 無料(教材費は実費負担)

詳しいお問い合わせは

ウイズセンターTEL:086-235-3309(就業相談)へ

ウイズライブラリー

テーマ「子育て・親育て」

ビデオ



●赤松彰子
●(財)大阪府男女協働社会づくり財団/製作
●1999年

3歳児神話をこえて PART3
「母性神話に
よりかからないで生きる」

3歳児神話・母性神話は、女性を縛ると同時に、子育てをも歪めてきました。保健婦としての長年の経験から、子育ての基本と女性の自立をわかりやすく述べている。

図書



●海原純子:著 ●PHP研究所 ●2001年

「ひとことを変えれば
子どもはのびる」

親にとってほんの何気ない「ひとこと」が、子どもにとってはとても重大な意味を持っています。日常生活の中で具体例をあげて、子どもを傷つけず、元気を与える言葉が満載。

図書



●村瀬幸浩:文 ●高橋由為子:絵
●大月書店 ●2001年

ジェンダー・フリーの絵本①
「こんなのへんかな？」

家庭で、学校で、また世の中をみていて、ジェンダーによる束縛を感じることはありませんか？この本を読んで、どんな束縛があるのか、どうしたらもっと楽しく生きていけるか、考えてみましょう。

図書



●大日向雅美:著 ●法研 ●2000年

「子育てママのSOS」

育児をしなくとも「父」という「夫」にわかって欲しい。「子育ては君に任せろ」と無関心を決め込む夫が妻を追い詰めているのか。「夫婦で子育て」を呼びかけている。



ウィズセンターは土・日曜日にも開館しています。
お気軽に、お越しください。

一日ウィズセンター開催

参加自由! 参加無料!!

- 日時 ■ 1月27日(日) 10:00~15:30
- 場所 ■ ゆめトピア長船 邑久郡長船町

- ◆総合相談…女性カウンセラーによる一般相談や弁護士による法律相談(岡山弁護士会協力)
- ◆就業相談…就業に関する相談・指導・情報の提供
- ◆情報コーナー…女性問題に関する情報の提供と図書400冊の貸出
- ◆講演(時間 13:30~15:00)
「介護にんげん模様~男女共同参画社会の家族を生きる~」
講師 春日キスヨ(安田女子大学教授)
- ◆地域活動の発表、特産品の販売等、盛りだくさんの内容。

- お問い合わせ ■ ウィズセンター
(TEL:086-235-3307)

ウィズセンター利用のご案内

- 開館時間** … 火~土曜日 ● 9:30~20:00
日・祝日 ● 9:30~17:00
- 相談員による総合相談就業相談** … 火~土曜日(祝日を除く) ● 9:30~17:00
(受付は16:30まで)
- 特別相談(予約制)** … 弁護士による法律相談 ● 原則第2・4金曜日
医師によるからだの相談 ● 原則第1土曜日
- 休館日** … 月曜日及び年末年始
- 電話** … 086-235-3307(代表)
086-235-3310(総合相談)
086-235-3309(就業相談)
- ホームページ** … <http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/danjo/>

人権を尊重することが、男女共同参画社会への第一歩です。

最近ではインターネット上において、女性差別や部落差別、障害者差別等の書き込みがなされるなど基本的人権の侵害が見受けられます。私たち一人ひとりが男女共同参画に関する理解を深め、女性に対する差別や暴力のない社会、各人が自らの存在に誇りが持てる男女共同参画社会を実現しましょう。



利用者からの声

情報誌WITHを定期購読したいのですが、どうすればいいでしょうか。 ~20代の女性より~

センターより

当センターの情報誌は2ヶ月に1度、奇数月の末に発行しています。

図書館、公民館、市町村、振興局等に置かせていただいておりますが、定期購読も出来ます。

その場合は、1回の送付につき120円の切手を事前に頂いておりますので、申込時に同封して下さい。

みなさんのご意見を受け付けています。
ハガキ・FAX・またはセンターの提案箱へ

- 交通案内** … 岡山駅から徒歩10分
バス●NTT岡山前下車すぐ
天満屋バスターミナルから徒歩2分
市内電車●郵便局前下車すぐ

ウィズセンター



770075844

ウィズ第16号(平成13年11月発行)

編集・発行/岡山県男女共同参画推進センター

〒700-0821 岡山市中山下1-8-45 NTTクレド岡山ビル17F

TEL(086)235-3307(代) FAX(086)235-3306

印刷/西尾総合印刷株式会社 横井支店